

湯川村立小中学校整備委員会 第2回会議録【外部資料】

- 1 日時
令和8年6月12日（金）午後4時00分～午後6時10分
- 2 場所
湯川村公民館「大ホール」
- 3 出席委員
22名中17名
- 4 出席事務局等
○教育委員会4名
教育長、教育次長他事務局2名
○一般財団法人ふくしま市町村支援機構3名

（開会 午後4時）

教育次長が進行を行った。

- 1 開会
教育次長が開会を宣言した。

- 2 教育長あいさつ

改めましてこんにちは。朝は雨が降っていましたが、気持ちよく晴れました。このような明るい時間からお集まりいただき、本当にありがたいと思っています。前回第1回目の整備委員会を開催させていただいた後、私と事務局と教育委員で月舘学園、いいたて希望の里学園を視察させていただきました。その他事務局として、須賀川市教育委員会を訪問してお話を聞き、稲田学園へも訪問したいといったことで進めて参りました。

先進地区の情報もいただきながら、今回の整備委員会は学校形態について皆様よりご意見を頂戴したいと考えております。笈川小学校の佐藤校長先生は、昨年度まで義務教育学校の河東学園で勤務していることから、実際に詳しい話を頂戴できればと思います。

本日は公民館の2階での開催ですので中学校の校舎を見ながら皆様からの、ぜひこういう施設を作って欲しい、このようにできたらいいのかなという話もできたらと思います。よろしくお願いします。

3 委員長あいさつ

皆様こんにちは。本日は本当にお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。今回は2回目ということで今ほどお話があったように学校形態についてが主な議題になると思います。皆様のご意見を聞いて進めていきたいと思っております。笈川小学校の校長先生からのお話もふまえながら、忌憚のないご意見を頂戴したいと思います。よろしくお願いします。

4 説明・協議事項

- (1)「学校形態の概要及び比較検討」について学校教育係片桐が資料に基づき説明した。
- (2)「会津若松市立河東学園の事例」について笈川小学校佐藤校長先生が資料に基づいて事例紹介を行った。

【質疑応答】

委員 義務教育学校と小中一貫校、メリット、デメリットがあるのは当然だと思います。全国で何校、県で何校あるというのは余り意味がないことだと感じます。

まとめの中の「これからのことを踏まえてという文章の中に義務教育学校は、中学校の校章等も小中学校統合したものに変わることになる」これが何か1番大きな問題になっているように読みとれます。義務教育学校にするのか、小中一貫校にするのか湯川村はどちらに適しているのか、子供たちをどう教育していくのかというところが全然出てこない和我々現場もそれから保護者も、なるほどというふうに納得してもらえないのではないかなと思います。

これを見ていると何か日程がタイトだからということで進められているような感じがします。

委員長 河東学園が義務教育学校になるきっかけはどういう経緯だったのでしょうか。

佐藤校長 それは、(河東学園の副校長として)私が着任したときに義務教育学校になって5年目でしたので、そこまでの説明はでき

ませんが、義務教育学校がいいという地域の要望だったと聞いています。

委員 基本的に併設校のほうが多分いいだろうと私も思っていました。

理由は、やはり中学校の校舎が今あるということと、それからそれに小学校を付けていく、または近くに作っていくということになるのだろうという大まかな方向は分かっていたので、義務教育学校のように、カリキュラムを独自にして、学年を分けていくというのはこれから検討していかないと無理だろうなと思っていました。

そのためには教職員の人数をどうするかということ、どんな形にするかということも決まってくるのかなというのが一つとその際、中学校の先生方が乗り入れ授業を多くするという事になった場合、今度は中学校の先生の負担がどこまで対応できるのかなというのも、これからある程度、想定しないといけないのではないかと思います。

併せて、私がぱっとこれを見たときに1番に行事が楽しくなり、いい行事ができそうというふうに感じました。

それで併設で進むのはいいのではないかなと思いました。

それと中1ギャップという問題をどこにその要因を考えるかで変わってくるのではないかと思います。

例えば、一つは学級担任制から教科担任制に変わったときの担任の先生と子供のやりとりがスムーズにいかなかった場合、子ども自体の発達段階で例えば4年生くらいになれば早い子だと女の子も身体的な変化を起こすということ、中学生になれば男の子も遅れて出てくると思うのですが、そういったものが影響して心理的な不安が出てくるなど、そういうことも考えられるのではないかと思います。併設校や義務教育学校になったからなくなるとかそういうことは考えにくいと私は個人的に思っています。

何が必要なのかと言ったときに、子供たちの心のケア、子供を取り巻く環境をしっかりと教職員が把握できるのか、そういったことになるのではないかなと思います。

それを踏まえた上で子供たちに適切なアドバイスや適切な指導が成り立つ、それから子供たちの人間関係を把握することが大事なのではないかと思っています。

そのためには、私は教員だけではなく、それをサポートする人たち、例えばスクールカウンセラーとか、ソーシャルワーカー、そういった人たちのサポートが必要なのではないかなと思っています。これは人件費等の予算的なこともあります。ぜひ本来子供の生徒指導上支援できるような人たちへのサポート体制を築いていくことは新しい学校の特徴になるのではないかなと思います。

これはお金がかかる話なので、よく検討していただければと思います。

質問になりますが、教室の場所の確認ですが、校舎は2階建てを考えているのですか。中学校が3階建て、小学校が2階建て、それとも3階建てになるのかという建物の大きさにもよると思いますが、その辺をよく検討していただきたいと思います。

場所が空いてるからという設定の仕方は苦しいなと思います。こういう理由なので、この位置でお願いしたいというような構想を持っていただきたいと思います。個人的には、案の3の場所が良いですが見晴らしが悪くなるということも考えられるので、その辺も検討していただきたいと思います。

あとは子供たちが暮らす教室環境というところです。

10年後には間違いなく最大でも20人以下の教室になります。

小学校、中学校の子供たちが、共通の空間で交流ができるような、例えば図書館をどこに設置するのか小学校側か中学校側のどちらかに設置して改装するのかというのは分かりませんが、そういったところも気になりました。そこにいらっしゃる司書教諭の方を張りつけられるようなことを検討していただくといいなと思っています。

最後は、私としては懸念というかどうかするのだろうかということとして、中学校にあるプールは一体これからどうなるのだろうかと気になったところです。

例えば中学校のプールで水深がどのくらいあるか分かりませんが、小学生が使うとすると深くなってしまおうのかその辺もよく調査していただきたいと思います。

あとは、現在中学校の保健室の位置がどこにあるか分かりませんが小学校に一つ置くのか、それとも中学校と合わせて置くのかというのも検討していただきたいと思います。

心理的なところの橋渡し、学級担任や中学校の担任に話せないようなことをサポートする人が多ければ多いほど良いと思いますのでその辺も検討していただければと思います。

委員長 建設場所については大変関心が高いところだと思います。

教育委員会としては、まだはっきり決まっていはいないと思いますが、例えばどのようなことを考えていらっしゃるでしょうか。

例えば図書室のことや今お話があったように、どの辺りに作ったらいいか等考えがあると思いますがいかがでしょうか。

教育長 はい、御意見ありがとうございます。

先ほどお示しましたとおり職員室を一つにしたいと考えています。校長先生1人、教頭先生が2人、小学校と中学校の先生が同じ職員室で勤務する、そんな形をとっていきたいと考えています。

そして先ほどスクールカウンセラーの話がありましたが、そういうカウンセラーさんの席もその職員室の中に設置し相談室をまた別の場所に作りたいと考えています。

今、中学校にカウンセラーさんが配置され、中学生の対応で勤務していただいているのですが、こういった小学校中学校を接続することで、スクールカウンセラーさんが小学生の相談にも行きやすくなるそんな形をつくっていききたいと考えています。

先ほど委員さんが案の3が良いとおっしゃっていましたが、私も案の3が良いと思っています。

中学校の敷地の中に小学校を建てるとすれば、この3つの案しかないと考えています。

どこがいいかについては各委員さんからの御意見を頂戴しながら固めていきたいと思っています。

そういった形で小学生、中学生の交流が可能なスペース、しかもそこが図書室になっていて図書司書さんもそこに勤務している。可能であれば村民の皆さんも使えるようなそういったスペースを作ることができたらいいなと私も考えます。

例えば、案3の今の中学校の校門のほうに、そういった場所を作ることができたらいいのかなと考えています。

プールについては今の中学校のプールを使っていきたいと思っています。

小学校は今、一学期でプールの授業が終わりますが、中学校は二学期にプールの授業を組んでいます。

一学期は中学校のプールにフロートを沈めた形で小学生も安全に使えるような水深にするといったことが可能になってくると思います。

保健室については小学校の保健室と中学校の保健室は別に作って、小学校と中学校と一人ずつ養護教諭の配置が可能になってくると思いますので、それぞれの校舎に分けて配置したいと考えています。

小学校の校舎が平屋になるのか二階建てになるのか三階建てになるのかについては、どんな部屋が必要になってくるか、そういったことを委員の皆さんからも御意見を頂戴しながら、部屋の数を確認していくと、だんだん見えてくるのかなと思います。

ただ、校庭で活動している児童生徒の様子が職員室から見えるような形にはしたいなと考えています。

委員 簡単に言うと 10 年先に子供が何人いるかということで建物を建てるかどうかというものが決まってくると思います。

皆さんがおっしゃっているのは、小学校を別に建てるということなのですが湯川中学校に一つにまとめられないのでしょうか。

考え方次第ではまとめられると思います。例えば教育の中の社会、英語、数学などは教室で授業をすると思いますが音楽室や技術室など建てるのならそういうものだけで中学校に 1 年生から 9 年生まで一つとした教育方針でやっていただいたほうが良いのではないのでしょうか。

仮に小学校を建てようとするのであれば箕川でも勝常でも生徒が移動すれば良いのではないのでしょうか。中学校の隣の狭いところに建てるというのはどうなのかなと私は思っています。

小学校の人数が少ないからそういうふうになってきたわけだと思いますが、去年に修繕した箕川小学校や勝常小学校のプールも 1 年や 2 年もしないうちに使えなくなってしまうということでしょうか。

この間の村政座談会においても将来的には村民が2,500人ほどになるのではないかという説明を聞きました。例えばこの周辺に小学校を建てても何年か後に人がどんどん減り、子供も少なくなることを考えると、教室移動を伴わない授業は教室で行うわけですから、今の中学校で間に合うのではないのでしょうか。

音楽の授業などは教室の隣で行うと騒がしいと思うので、今ある笈川小学校の教室を使うとか、勝常小学校の何々を使うとか、（現在の笈川小学校や勝常小学校の校舎は）すぐに壊すわけではないと思うので建てるのであれば、勉強する以外のものだけをもっと小さく建てて、音を大きく出したり、何かを作ったりする学習などは、そこで行うようにすれば小学校を建てる必要はないと思います。

人数的には入ると思います。それで教職員をできれば少し多めに採っていただいて、あと通学面でどうするか、そういうほうにお金を使っていたきたいと思います。箱ものを建てても人が少なくなっていくことを考えると10年後、20年後本当に使うのか疑問に感じますので、その辺を考えていただきたいと思います。教育は一つの学校でやる。その中で、例えば運動などは村体育館もありますし、中学校の体育館、小学校も使えるかどうかわからないですが、そういうものもあるわけなので校庭においても、中学校、小学校もあり野球場もサッカーをするところもある中で余計なものを立ててどうするのかと疑問に思います。

委員長 中学校の先生、校長先生どうですか。

委員 小学校及び中学校の子どもたちが中学校の校舎に全員入ることは、私は厳しいかなと思います。

委員 教室的にはどのくらいあるのですか。

委員 教室的には6つです。子どもたちが学習する教室が6室と特別教室というのがあります。

委員 それが1室だけでしょうか。

委員 特別教室は、技術家庭科室、音楽室があります。

委員 それを外部に持ち出して教室にすればまとまるのではないのでしょうか。1年生から9年生までを一つの学校でやってほしいです。

委員 （学校の特別室を）改装するということでしょうか。

委員 お金をかけて箱ものを建てるのであれば、改装していただいたほうが良いのではないのでしょうか。隣で音楽の練習をされたら教室の人はうるさくて勉強にならないので、そういった音楽室や図工室などを外部に持ち出すのが良いのではないのでしょうか。

そうすれば1年生から9年生まで一つの学校としてできるのではないのでしょうか。

教育長 私の考えです。今一つの学校とおっしゃってましたが、今の中学校の校舎と小学校の校舎をつなげて職員室を一つにしたいと思います。

形としては小学校と中学校ですが、(連絡通路などで)つながっている学校、大きな見方をすれば、やはり9年間の一貫教育ができる学校をつくりたいと考えています。それと音楽室というお話がありましたが、今の中学校にある音楽室や家庭科室などについては小学生も中学校の校舎に行って部屋を使うそんなイメージでいます。

体育館も立派な体育館がありますので小学校の体育館を新しく作る考えはありません。

委員 そうであれば、今の二つの小学校にまとめれば人数的には大丈夫なのではないのでしょうか。

教育長 人数的には確かに大丈夫ですが、バスで1回1回移動させるわけにはいきません。中学校との連携がとりづらくなるということがあります。また今の小学校の校舎は既に耐用年数を超えているため毎年修繕費をかけながら使用しているような状況です。修繕に係るお金を新しい校舎の建設に回したほうが将来的に見たときに有効だろうという考えもあります。

委員 無駄ではないのでしょうか。

教育長 子供たちにかかるお金に無駄ということはありません。

委員 湯川村の20年先に子供は何人くらいになるか予想できますでしょうか。仮に令和12年に小学校が作られるとして、そのときの人数は小中学生全員で何名になるか把握していますでしょうか。

教育長 将来的には子供の数も減っていくだろうというのは予想しています。新しい校舎は要らないのではないかと、今の中学校の校舎に入れるのではないかとそういった考えのようですが、子どものきちんとした学びや豊かな学びというものを考えた

時に今あるもので間に合わせようということとはできないと考えています。

次長 基本方針を見てお話を頂いていることと思いますが、基本方針ということで、教育委員会として決定して今この会議とに進んでいます。

方針としては、小中一貫型の新しい学校を作るということで方針を決定して進んでいるので、その方向で話をさせていただきたいと思います。

プールについてもお金がかかったという御意見もありますが改修しないと（学校で）プールの授業ができないということがありましたので補助を活用しながら改修しました。

今後そのプールの利活用などもこれからこの会議の中で話していけたらと思うところです。いろいろ御指摘ありますが、小中一貫校ということで方針決定して進めさせていただきたいと思います。

委員 教育方針について、基本的に1年から9年まで教育を行うということですが、併設で作るということは、中1ギャップの解消のためのメリットにはならないのではないのでしょうか。

同じところにいるのであれば教室が変わるだけではないのでしょうか。

次長 なので施設一体型の小中一貫校ということで進めたいということです。中学校についても階段の高さや、水道の高さなどもありますので、また改めて詳しく御説明したいと思いますが、一つにまとめのほうがいいのではないかという御意見がありましたが、全てそういうふうにはいかないところがあり、なるべく共有する部分を協議しながら進めていきたいと考えているところです。

委員から御意見もありましたが、理念的な部分で小中一貫校という部分で進めたいと思っているのですが、現実的に言葉では小中一貫校と表現できますが、カリキュラムなど難しい課題もあります。河東学園さんも、まず小中一貫の学校に移行してから義務教育学校に移行しているので、それを考えた場合に小中一貫型の学校ということで御説明しましたが、小中一貫の学校でより良くしていきたいという方向で考えていきたいと思います。これが大変だとかそういった話ではなく湯川村としてこれから小中一貫型の新しい学校をつくって

いきたいということをきちっと説明していきたいと考えています。

委員長 教育委員会でも、これから進めていきますのでいろいろな御意見を出していただきたいと思います。

次長 視察研修なども考えていますので、いろいろな学校を見ていただいてぜひ御意見を頂きたいと思います。

委員 今回義務教育学校か併設型の学校かどちらかというところだと思うのですが、事務局でまとめていただいたメリット・デメリットを見ると総体的にはメリットのほうが大きいので併設型小中学校のほうが良いのかなというところと、河東学園の義務教育学校のほうも魅力的なところがあったと思いますが、やっぱり親目線でいきますと、こちらの資料のまとめに書いてあるように併設型小中学校のほうが、小学校の入学式、卒業式があるというところで節目節目で成長を親子ともに実感できる、また子供にそういった卒業式などを体験させてあげたいというところもありますので併設型小中学校のほうが良いのではと思っています。

また、義務教育学校ですと1年生から9年生になりますが、併設型小中学校については今の形態と余り変わらないのかなというところがあったので、保護者の方の反発とか違和感とかも少ないと感じました。義務教育学校になるとなったら結構抵抗があるのではと思いました。

参考程度にお聞きしたかったのは、河東学園は1年生から9年生で卒業式がないということですが、小学校から学鳳中学校のほうに行かれる方もいると思うのですが、河東学園でそういった子がいた場合は、卒業はしないで中学校だけ受験するような転校の扱いになってしまうのでしょうか。

佐藤校長 受ける子が毎年何名かいまして、去年は2名合格しています。転校というより転出です。

委員 卒業証書はないのですか。

佐藤校長 修了証書というものがありますが、卒業証書はないです。

卒業証書と同じ大きさのものを卒業証書と同じように二つ折りで校長先生から卒業式のように渡しますが、保護者は出席しないです。一応節目でそういったものをつくっています。

委員 要望は併設型でもいいので、できるだけ義務教育学校の良さを十分に併設型でもできるように工夫してほしいということ、今あったように職員室は一つにしましょうというのも一つだと思うのですが、一つの敷地で9年間学ぶのでは生徒のほうでも、一貫義務教育と余り変わりはないような生活になってくると思うので、できるだけいろいろ調べて義務教育学校のメリットを十分に生かせるような併設型のほうが良いのかなと思いました。

あともう一つは作る場合ですが、やはりそんなに裕福な村ではないので、中学校で使えるものは十分に使ってほしいです。中学校は昔学年2クラスありましたが今は1クラスしかないので音楽室についても3つしかクラスがなかったら、音楽室も余裕があるので、十分小学生も使えると思います。

なるべく予算をかけないで本当に必要なものだけ建てて、違うところにお金を使ってほしいと思っています。

委員長 併設型小中学校になっても義務教育学校の良いところ、例えば佐藤校長先生のお話にあった前期課程と後期課程の児童・生徒と一緒に活動しているところなどをどんどん取り入れてほしいと思います。

たとえば、入学式では9年生が1年生の手をつないで一緒に入場するとか温かい関係とかそういったものをどんどん引き入れてやっていけば、併設と言っても義務教育学校に近い学校になるのではないかと思います。施設の方は中学校の建物をもう1回見直していただく必要があるのではないかなと思います。

委員 保護者の人と情報共有した時に「小中一貫校なの?!」と驚く方がいるので、どの段階で保護者の方、村民の方たちにどこまで情報を伝えていくのがいいか、全て決まってから公表すると、こうして欲しかったという要望なども保護者から出たときに何かいろいろ問題が起きてしまうのではないかなと思います。どのぐらいの村民の方、保護者が、小中一貫校として今議題に上がってるのを知っているのかなというのが、分からないのですが、どのくらい分かっているのでしょうか。

次長 基本方針を村内周知ということで今回座談会でも「施設一体型の学校、小中一貫校を作ります」ということで説明

はしてしまして、大分理解いただいているのかなという思いではあります。ただ学校さんに出向いて、教育委員会から「小中一貫校を作ります」とかそこまでは説明していません。

そこが課題と思っけていまして、保護者説明会をいつの時点で開催すべきかいうのを今検討しています。

いきなり義務教育学校となると驚きや混乱を招く恐れも考えられます。

小学校・中学校は残りますのでそこもよく説明してまいりたいと思います。この整備委員会の会議内容をホームページで公表させていただいています。1回目の内容は既に公表しておりますが、周知をどうするかは課題でありますのでよく検討していきたいと思います。

今現在、基本方針で施設一体型の小中一貫校を作りますと説明しているので、そこで大部分は理解いただいているという思いがありましたが、小学校・中学校と一体化についてよく分からないという方が結構いらっしゃるのかもしれない。

委員 中学校の敷地内に建てる予定みたいだという話をする
と小学校統合の話だったけれど、小学校統合だけではなく
一貫校なのかと驚かれます。

委員長 できるだけ早く保護者会などで、そういった場でもう一度
詳しく皆さんに説明できるようにお願いします。

委員 何年か前から耳には入っていますが説明がないので、理
解できないです。「作る」ということになると箱ものばかり
作ってお金持ちだと言われることが多いです。

次長 統合小学校を作るというのは理解いただいていると思う
のですが、建設場所などいろいろな不安があると思うので
この基本構想ができれば、この内容ですというように周知
説明できると思っけているところです。併設型小中一貫校の
メリットなどをよく説明しながら保護者の方、村民の方へ
周知していきたいと思っけます。

委員 村政座談会がありましたが、参加したのは4、5名で
「村政座談会の資料に統合小学校の基本方針の概要が入っ
ています」と言われても地区の人はほとんど見ていないで
す。

そうであれば、今一番大切なのは小学校の保護者さんと幼稚園、保育所の保護者さんが一番切実になってくるわけなので村民全体も必要ですが、小学校、幼稚園、保育所の保護者の方にきちっと説明していかないと不安はどんどん大きくなるのではと思います。

座談会でも数人しか来ないので説明するときには、一番関係のある小中学校、幼稚園、保育所さんの保護者の方に十分説明していかないと自分たちの子供が入った時に一貫教育の小中学校になってしまうのというように、驚きがあると思うので、早めに説明したほうがいいのではと今聞いて感じました。

委員長 なるべく早く説明をお願いします。

教育長 今御意見いただきました。

各学校保護者会、幼稚園、保育所保護者会の際、校長先生と相談しながらそういった時間を取っていかうと思います。

委員 小学校が統合されると単純に生徒が倍になり、先生方の負担も増えると思いますが、そこでスクールカウンセラーの方とか人員を増やすのかという議論が今教育委員会のほうで進んでいるのかお聞きしたいのと、この学校整備委員会でそういった学校の内部の先生の配置というのも議論していくのかをお聞きしたいと思います。

教育長 統合すると子供たちの数は1クラスの数が大体、2倍くらいになりますが先生数は法律で決まっています。

湯川村の場合は学級数は変わらないです。

単純計算でいけば、統合したときに先生数は今の笈川小学校の先生の数又は勝常小学校の先生の数と基本変わらないので、先生数は湯川村全体で半分になると考えています。スクールカウンセラーについては今、県から中学校に1人配置されていますが、小学校には県からの配置はございません。

村として、小学校のためのカウンセラーを雇用する方法もありますが、湯川村の学校の規模を考えると、今の中学校のカウンセラー1人で対応できる範囲と考えております。

支援員については今、笈川小学校 1 人、勝常小学校 2 人、中学校 1 人の合計 4 人の支援員を配置していますが、統合したときの支援員の数は実際に支援が必要な児童生徒の数によって決まっていくと考えています。

現時点で支援員が何人になるというのは今の段階ではお答えできません。

委員長 それでは時間ですので一応教育委員会から方向付けということで出されましたが、義務教育学校というよりも併設型小中一貫型小学校中学校が良いだろうということですが、皆さんこの方向で進めていってよろしいですか。

〈異議等なし〉

そういった方向で進めていきたいと思いますので教育委員会よろしくお願いします。

なお、建物についてはいろいろ考えがあると思いますので、今後もどんどん御意見を出していただければと思います。それでは、協議のほうはよろしいでしょうか。

委員 河東学園には管理棟があるということですが、そこには何があるのでしょうか。

佐藤校長 管理棟の 1 階に図書室がありまして、図書室の隣に多目的ホールというホールがあり、そこでいろんな先生方の会議を行ったり、子供たちが発表を行ったりできるステージがあります。また、可動式の椅子があり、普段は後ろに収納してありますが、引き出すと 100 人ぐらい座れます。2 階にはコンピューター室、家庭科室と音楽室があり、そこを前期の子や後期の子が共用しています。規模ですが河東学園は現在 530 名います。後期課程が約 180 名で、前期課程が 350 名くらいの規模なので学年 2 クラスです。

委員 職員室の話も出ていたので規模感によっても変わることが考えられるのでお伺いしました。小学校の先生と中学校の先生の意見の摺合せが課題になってくることが考えられます。職員室が一つであることについては、メリットもありますが、先生方が動いていかないとメリットにならないところもあるのではないかと思います。調査でも小学校の先生と中学校の先生が意見を交換する時間がないことで、ずれが生じてるということが出ているので、引き続き考えていただければと思います。

(3) その他

事務局より事務連絡をした。

【質疑応答】

①スケジュールの変更及び視察について片桐より説明した。

②委員の追加について次長より説明した。

③会議の時間帯について

教育長 この会議の時間帯につきまして、前回「この会議は、16時開会とさせていただきます。」とお話しましたが、お仕事やご家族の都合など、お一人お一人、様々な事情がおありのことと思います。

「18時ころからのほうがよい」など皆さんのお考えをいただいて、改めて気決めたいと思いますので、御意見をお願いします。

委員 子どもが小さく、寝るのが大体8時半前ぐらいなので、会議が遅くなると夜親子の時間が取れなくなり寂しいというのが単純に親の思いです。

毎回夜じゃなくて夕方の開催月も残しておいてほしいと思います。

委員 会議の時間を6時にすると、会議時間が1時間で終わらないような気がします。今日も2時間かかっているので、1時間半から2時間ぐらいかかることを考えると、6時からの開始では、終わりが8時近くになってくるので厳しいと思います。4時に来るのは大変ですが、それでもいいと個人的には思っています。

委員 今日、保護者の方が結構欠席されているのでこの状況を見ると欠席されている方に合わせてあげたほうが良いのではないかと思います。間を取って5時からなど、少しでも早退しやすくなるような時間帯の設定が良いのではと思います。

委員 関係する人たちが参加できる時間を聞いていただいたほうが良いのではないのでしょうか。

教育長 今日欠席されている方もこの時間は出席できない事情もあると思うので、教育委員会から連絡を取ってみたいと思います。

委員 個人的には、何時でも良いのですが、先ほどお話あったとおりプライベートの時間はすごく大切だと思いま

す。ましてや子供が小さいと大変だと思うので、時間短縮や凝縮しながら時間が遅いときはそんなふうに進めたりして、臨機応変に対応していけば良いと思うので個人的には何時でも大丈夫です。

委員 個人的には4時でも構いません。

委員 皆さん、お仕事で半休取って来るのは大変だと思いますので、5時や6時という時間があっても良いと思います。

教育長 これは教育委員会事務局のほうでも検討しながら次の時間を御連絡差し上げたいと思います。

3回目以降、日にちを決めてから御連絡を差し上げたいと思います。

委員長 はい、ありがとうございます。

本当に大変時間がかかってしまいました。

今日は2時間突破しましたのでこれで終わりたいと思います。

次長 五十嵐委員長ありがとうございます。

それではその他に移りたいと思います。

皆様からございますか。

委員 副会長さん含めまして、これから子育てする世代のお家の方にとって、お子さんを含めて情報が入らないというのはとても不安になると思います。

ただ、ホームページだったと思いますが、検討委員会の整備委員会での記録というのが実は掲載されています。私自身もそうですが、本当に家に帰ってきてしまうとオフになって疲れてネットを開くことはできないことや、後から見るとかという状態になってしまうということもあります。先ほど教育長、教育委員会も含めまして、保護者会の時に御説明してくださるということですが、まるっきり真っさらな状態で参加しても情報が入ってこないのでは、何を質問すれば良いのだろうとそこで終わってしまうような気がします。

整備委員会でこういう話し合いがあって、記録や資料関係も載っていますので、それを事前に見ていただいて、こんなことを質問したいなとか、こんなこと聞いて

みたいなのか、ここが不安だなということをお話しできる場になると思います。

ただ、参観日の時間帯が午前中ということで決まっていますのでそういうところは御相談しながらということになりますが、情報がありますよということを幼稚園でも発信する手段を考えていかななくてはならないと思います。

教育長 ありがとうございました。

保護者に直接お知らせできるシステムも入っていますので活用しながら進めていきたいと思います。

次長 それでは以上をもちまして第2回村立小中学校整備委員会を終わります。ありがとうございました。

5 閉会

教育次長が閉会を宣言した。

(閉会 午後6時10分)